

「城下町洲本歴史ウォーク」

2011.10.21



天気予報では雨。でも秋晴れの日でした。47名の受講生が先生の説明を受けながら、淡路島の行政、経済、文化の中心地として重要な役割を果たしてきた洲本の街を4時間の歴史ウォークでした。お昼は厳島神社で美味しいお弁当をいただきました。

洲本市立淡路文化史料館に集合。会議室で淡路地方史研究会会長の武田信一先生から、予備学習として「城下町洲本の歴史と街並み」「庚午事変と稲田家」のお話を聞きました。



文化史料館は、阿波藩の屋敷（下の城）があったところ。石垣とお堀に囲まれていて、裁判所や税務署、検察庁などがなっていました。お登勢の像があり、石垣にはアオサギがじっと止まっています。



洲本八幡神社の鳥居。境内は有料駐車場になっていました。芸能の神様柴右衛門がユーモラスに立っています。神社の横に移設された金天閣の中も案内していただきました。



火災で消失した地蔵寺と隣の青蓮寺が一つになった遍照院。このお寺で得度された方々が後に立派に成られたとのこと。記念碑や句碑も有りました。

寺町のお寺のお庭に可愛い像がありました。赤い実がなっていました。何の実かな？



昔から淡路島は俳句が盛んだったとのこと。島のあちこちに句碑や歌碑がいっぱい。洲本の街にもたくさんの句碑や歌碑がありました。